

会 議 録

1 会議名

令和8年度第2回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1) 地域自治の推進に向けた今後の方策案について

○自主な審議（公開）

(1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和8年5月27日（水）午後6時30分から午後8時22分まで

4 開催場所

牧コミュニティプラザ2階 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

・委員：西山会長、清水副会長、飯田委員、井上委員、河野委員、梨本委員、
西條委員、羽深委員、宮内委員、横尾委員、和久井委員

・担当課：石井総合政策部長
地域政策課 新保係長、村上主任

・事務局：牧区総合事務所 小林所長、岩崎次長、清水市民生活・福祉G長兼教育・
文化G長、小暮地域振興班長

8 発言の内容

【報告事項(1)：地域自治の推進に向けた今後の方策案について】

■ 説明

・担当課より資料No.1により説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：地区ごとに過疎化や人口減少の進行状況や各地区の課題が異なる中で、28地区一律の進め方では対応が困難な地区が出てくるのではないかと。課題の優先順位付けの必要性をどう考えるか。また、地域政策課は各区の課題や危機感についてどう捉えているのか。
→回答：市街地的な地区と中山間地域では状況や意識に差があると認識している。特に担い手不足が深刻な中山間地域を重視しつつ、過去の経緯等を踏まえ、行政が一方向的に押し付けるのではなく、地域の実情に応じてできることから支援していく方針である。

- ・ 質問／意見：地域協議会委員選任において、公募公選のみにし、団体推薦を見送った理由を確認したい。
→回答：団体推薦そのものを否定するものではないが、市街地と中山間地域を同一制度で運用することが難しく、団体推薦と公募を併用すると制度運用が成り立たない懸念があるため、公募主体とした。ただし、公募公選としている現行制度の中でも団体からの関与は可能である。

- ・ 質問／意見：担い手確保のため、地域協議会委員への報酬導入を検討すべきではないか。
→回答：報酬については賛否が分かれており、報酬があることで自由な意見が言いにくくなるとの意見もある。制度上、両立が難しいため今回は現行どおり無報酬としたが、今後の検討課題として認識している。

- ・ 質問／意見：地域運営組織は立ち上げて終わりではなく、その後の運営が課題となる。その点を配慮しながら積極的に進めて欲しい。
→回答：地域運営組織への支援については、立ち上げと初年度だけで終わりにするのではなく、当然その後についても継続して支援を行いたいと考えている。

- ・ 質問／意見：上越市が想定する地域運営組織は、国が示す RMO と同一のものなのか。
→回答：国の定義に厳密に合わせるものではなく、上越市としては一つの課題に取り組む小さな活動も地域運営組織として捉え、柔軟に支援していきたい。

【自主的な審議(1)：あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について】

■ 説明

- ・ 事務局より資料 No. 2 により説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：把握した 5 7 件の空き家のうち、実際に移住希望者が見学した物件や、具体的な話が進んだ物件ほどの程度あるのか。
→回答：5 7 件は町内会長からの情報提供段階のもので、現時点では移住希望者への正式な紹介や見学に至っているものではない。今後、所有者意向の確認や専門家との連携を進め、紹介可能な物件を整理していく。
- ・ 質問／意見：農業・林業に関して、道路沿いなど管理しやすい場所での樹種転換や広葉樹活用を進めるべきではないか。
→回答：今回の方向性や取り組みの体系概要では農地に限定している部分があるが、農地に限定せず、適地を幅広く検討する必要があると考える。専門的知見を持つ人の協力も得ながら、可能性を探っていきたい。
- ・ 質問／意見：雪や自然を生かした体験コンテンツの PR を強化し、冬の魅力も含めて外部から人を呼び込む工夫が必要ではないか。
→回答：雪体験を含めた移住・体験プログラムの可能性は認識しており、定住支援コーディネーターや集落づくり推進員等と連携し、通年で体験できる体制づくりと情報発信を検討している。
- ・ 質問／意見：予約型コミュニティバスの運行状況に同じ市内でも地域差がある理由は何か。

→回答：地域ごとの施設・店舗の配置や住民ニーズの違いを踏まえ、地域の声を聞きながら運行形態を調整しているため差が生じている。今後も状況に応じて見直していく。

- ・ 質問／意見：買い物支援事業「どこでもドア」は実際に助かっている人がいると聞いており、現状や今後の支援の考え方を共有した上で、追加の支援等の必要があれば地域協議会で話し合うこともできるのではないかと。

→回答：買い物支援事業は地域独自の予算を活用して継続実施されており、昨年度の利用実績は延べ77人である。人員体制が十分でない中でも、区内・区外への対応を行っている。今後、免許返納者の増加や医療機関受診の足の確保といった課題も見据え、牧振興会と連携しながら対応方法を検討し、進捗は地域協議会に報告していく。

- ・ 質問／意見：小学生・中学生・高校生の居場所はこれから作っていかねばならないと思うので、地域協議会で研修や協議をしていくことも大切だと思う。

→回答：牧中学校と雄志中学校の統合に向けて、令和9年4月までに中学生の居場所を市民に周知することを想定しており、現在検討を進めているところである。進捗状況は改めて伝えていく。

- ・ 質問／意見：事務局より確認したいが、農業や暮らしの面で外部とのつながりを作る動きについて、率直にどう感じるか。

→回答：季節ごとの農作業や自然体験には高い魅力があるので、それらを体験の場で活かし、外から人材が来るきっかけになればと思う。

【その他（連絡事項）】

■ 説明

事務局より以下5点を説明

- ・ 令和8年度4区地域協議会委員合同研修は6月26日（金）午後、清里区にて開催
- ・ 上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）のスケジュール変更について

て

- ・まちづくり市民意見交換会の開催について
- ・男女共同参画推進センター等からのお知らせ
- ・次回第3回牧区地域協議会は6月17日（水）18時30分からの開催

■ 質疑応答

- ・質問／意見なし

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください